

2000年の記事

Karate-Koshodo Renmei

空手古書道連盟

護身術秘伝

空手拳法(セーパイの研究)



摩文仁賢和著 興武館 昭和9年発行

先ず、この年代のものにしては箱付きで状態が良いのに驚かされた。この本は護身術というより純粋な空手教本である。開手型・セーパイの型についての解説・用法を写真入りで紹介。後半は「武備誌」のコピーが参考資料となっている。この書によって初めて「武備誌」が公表された。(2000/12/29)

スポーツ・探検人物事典



山口昌男監修 日本図書センター 平成12年発行

この本は子供向けのものです。スポーツ・探検分野で功績を残した101人を紹介。

「特に多くの人に夢と感動を与えた人物はカラーページで」となっています。そのカラーページに大山倍達(2ページ)も載っています。同じく山下泰裕、二葉山定次、ジャイアント馬場もカラー2ページです。モノクロでは、植芝盛平、嘉納治五郎、三船久蔵、前田光世、宗道臣、柳生宗矩、伊藤一刀斎など武道家も多々紹介されています。

拳の文化史



セツト・リンハルト著 角川書店 平成10年発行

この本を大阪の古書店で見つけた時、「又、知られざる空手の本を発掘したぞ。」と胸がドキドキ高鳴った。

そして、手にした瞬間、呆然となった。実は、この本には帯が付いてありこう書かれていた。「ジャンケンのルーツをさぐる。数拳、虫拳、虎拳、狐拳・・・」そういえば、仙台で見つけた「体道」というものもあったなあ

真樹道場 第一回全日本空手道選手権大会



この大会のプログラム。真樹道場20周年で真樹日佐夫先生の還暦年ということで、今年は真樹道場が熱い。11月には初の空手ビデオも発売される。「真樹日佐夫直伝 真樹道場ファイティング空手」ファイブウェイズ発売 8800円 更に、本が2冊も発売されます。12月発売に「すてごろ懺悔録」流星社、1月発売に「マッキーに訊け」ぴいぷる社



日本空手道研修会 50周年記念式典

9月3日に池袋サンシャインプリンスホテルにて日本空手道研修会50周年記念式典がありました。日本空手道研修会は近代空手の創始者である糸洲安恒の教えを受け継ぐ金城裕宗師範の団体です。金城裕宗師範といえば空手文献の研究では第一人者として知られており、現在の名刺には「空手評論家」と書かれています。さて、この式典で特に目立ったのは金城裕宗師範の蔵書一部が解説付きで展示されていました。大正時代からの貴重な書籍、資料の数々に参列者は興味を引かれていました。又、記念として配られた記念誌も立派なもので空手文献の貴重な一冊になるでしょう。

剛柔の息吹 山口剛玄著 栄光出版社 昭和41年発行



今年の神田古本まつりで入手しました。今年もたくさんの武道書がでていましたが、あまり売れていない様子です。武道古書も不景気なのか。この本は、剛柔流の山口剛玄の自伝です。生い立ち、空手との出会い、戦争時代のこと、ヨガ・神道について、剛柔流について、剛柔会の組織、簡単な技術紹介と写真も多数ありボリュームある一冊です。

肥田式簡易強健術 壮神社 平成元年発行



一年ほど探していたもので大阪で驚く出会いにより入手しました。この日は、ブルース・リー研究家で著書や訳書も多数ある松宮康生氏と会うことにな?ていた。この会合に、この本を作った恩蔵氏も同席するはずであったが急用で3人では会えなくなってしまった。約束の少し前に寄った古本屋でこの本にであった。改めて、怪人・恩蔵氏は不思議でならない。東京に戻り早速、恩蔵氏に魂をいれてもらった。(サインをしてもらっただけです。)ところで、この本は肥田式簡易強健術を簡単に紹介している入門書であり近々重版する予定とのこと。一家に一冊の名著です。

拳正道 護身術入門 拳正道通信教育部



総合武道の拳正道のミニ冊子。写真入りで様々なケースの護身術を紹介。恩蔵さん、提供ありがとう。

沖縄空手道の歩み 外間哲弘著 昭和59年発行



著者は沖縄剛柔流の師範で、最近名が知られるようになりました。昨年も著作「沖縄空手道・古武道の神髄」を出版して、格闘技のTV番組に出演したりしています。BABジャパンから「琉球国技 剛柔拳志會 空手古武術の秘」全3巻のビデオもだしています。この本は著者の23年に及ぶ空手修行と11年に渡る資料収集をまとめたもので自費出版として制作されています。全451ページ。第一章空手の起源、第二章中国の少林拳術と達磨、第三章流派の源流、第四章空手道呼称の変遷、第五章空手雑話、第六章唐手佐久川寛賀、第七章人物列伝、第八章学校における空手、第九章沖縄武備誌の研究、第十章秘伝活法、第十一章海外における空手道・古武道、第十二章国際武道大学と沖縄県立芸術大学、第十三章中国・沖縄交流武術大会開催される、第十四章県内市町村別道場所在地、第十五章役員名簿。

空手道基本型 日本空手道玄和会 玄翔7年発行
拳報 第十六号 慶応義塾体育会空手部 昭和15年発行

南郷継正の玄和会空手の型教本。三一書房の武道シリーズは一般でも知られているが、この自費制作本は貴重です。機関誌に掲載されたものを一冊にしたものです。4つの型が紹介。空手団体が独自の元号を付けているのも珍しい。

大学空手部の機関誌。ガリ版作りのもので戦前の様子がただよっています。

6月14日発売の「秘伝」7月号の特集 / 名人十段三船久蔵にて当連盟が資料提供しています。是非、ご覧下さい。

この梅雨の時期、一年の中で最も古書の管理に気を使います。なにしろ湿気対策で除湿器がまわりっぱなし。ダンボール箱150個と大型書棚を守ります。



「大山八段のウルトラ護身術手帳」大山倍達監修

「近代空手への招待」藤原二義著 昭和39年発行



極真ファン、空手古書の収集家でもまず持っていないのがこれです。当時あった極真カラテの通信教育講座「マス大山空手スクール」で通販のみで販売されていました。中味はその名の通りさまざまなケースの護身術と空手の基本が紹介されています。面白いのは犬に襲われた場合の対処法がありました。昭和49年発行。190p。文庫版サイズ。

福岡の古書店で入手しました。この当時ではめずらしい自費出版です。基本、型を写真にて解説。対談や著者の空手遍歴の章もある。福岡正気道場発行。157p。新書版。

「体道」矢頭保著

タイトルを見た時、「何の武道の本だろうか」と胸がドキドキした。手にとって見てビックリ。ポテホイビル写真集でした。題名を「体道」としたのはボディビルが武道、茶道と同じくひとつの「道」として完成するように、という願いをこめたとのこと。三島由紀夫の序文と本人のボディビル写真も2ページ有り。昭和41年発行。75P。B5ハードカバー版。

空手古書つれづれ記

4月16日に佐藤塾のポイント＆KO大会に出かけてきました。今までも何度とお願いをしてきた真樹日佐夫先生にサイン本を頼みました。今回は発売されたばかりの「兄貴」ちくま文庫と漫画の「プロレス悪役シリーズ」全5巻。漫画は現在プレミアもので、真樹先生も大変懐かしがっていました。

毎日のように新刊書店、古書店をのぞいています。この5年ほどで急速に増えている新古書店にもよく行きます。BOOKOFFに代表される書店です。この新古書店でも絶版書、バックナンバー、中古ビデオなど思わぬ収穫が多々あります。現在、全国に新刊書店2万店、古書店4千店、新古書店1500店程といわれています。更にインターネット書店が増加したりと書物をめぐる形態が大きく変わってきています。ただ、一冊の本との出会いは楽しみであることに変わりはありません。